

第 50 回人権尊重社会を実現する鳥取市民集会 ～ 麒麟のまち圏域でさらに人権尊重の輪を広げよう ～

連携中枢都市圏ビジョン懇談会会議資料

令和 6 年 3 月 26 日 (火)

鳥取市総務部人権政策局人権推進課

外線 0857-30-8071

1. 経過、目的

「人権尊重社会を実現する鳥取市民集会」は、「同和問題をはじめとするあらゆる人権課題の解決をめざし、実践と交流の輪を広げること」を目的に昭和 49 年から部落解放鳥取市研究集会として始まり令和 6 年度で第 50 回の節目を迎えます。これまで圏域の住民の方も参加されている状況にあり、第 50 回の開催を機に麒麟のまち圏域で連携し、人権問題に関わる啓発・教育活動の情報共有と事業の連携を行うことで、圏域内の住民の人権意識の高揚を図り、誰もが安心して暮らすことのできる社会の実現をめざします。

2. 事業の効果及び活用方法

毎年 1,000 人近くの参加があり、さまざまな人権問題の解決に向けた研修等を行っています。

- 実施にあたっては、市民団体や企業、関係機関と実行委員会方式で取り組んでおり、協働・連携することにより人権意識の高揚が図られます。
- 麒麟のまち圏域で取り組むことにより、交流を図りながら地域課題をともに学び、誰もが安心して暮らすことのできる社会の実現により一層寄与するものと考えます。
- 「地域食堂支援事業」や「麒麟のまち孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業（R6 年度新規）」に関する人権課題の教育・啓発を担っており、学びと実践の両輪による相乗効果も期待できます。

※R5 特別分科会「社会的孤独・孤立の講演・ワークショップ」

R4 全体会「ヤングケアラー当事者による講演」など

《連携のあり方》

- ・集会の周知、広報
- ・集会への参加
- ・人権に関する啓発・教育研修などの情報共有など

3. 今後のスケジュール

令和 6 年	4 月～7 月	市民集会実行委員会（2 回程度）
	8 月 23 日	市民集会開催
	10 月	市民集会実行委員会（アンケート集約報告）



4. 事業の内容

実施主体：鳥取市人権教育協議会

全 439 団体で組織（R5.4.1 時点）52 地区人推協、企業、市民団体、民生協や地区公民館連合会、PTA 連合会、公益法人等から構成。

<令和 5 年度実績> 前半 全体会、後半 人権課題別分科会

【全体会】 映画上映「破壊」

【分科会】

第 1 子どもの人権【講演・ワークショップ】 演題：「こどもアドボカシー～こどもと大人がパートナーになるために～」 講師：坂口 泰司 さん（Hope&Home アドボキット・鳥取こども学園総括主任）
第 2 男女共同参画【講演・ワークショップ】 演題：「パートナーとのよりよい関係」～尊重し合う関係を築くために～ 講師：真山 文子 さん（鳥取県福祉相談センター女性相談課長）
第 3 同和問題（部落差別）【講演】 演題：「差別のない社会づくりへ差別禁止法をつくろう！」 講師：谷川 雅彦 さん（一般社団法人部落解放・人権研究所代表理事）
第 4 障がいのある人の人権【講演・ワークショップ】 演題：「発達障がいって何？」 講師：ペアレントメンター鳥取キャラバン隊（NPO 法人鳥取県自閉症協会）
第 5 地域における人権の取組【実践報告】【研究討議】 報告者：霜村 哲男 さん（修立地区人権啓発推進協議会会長） 山本 英世 さん（末恒地区人権啓発推進協議会会長） 助言者：田村 公顕 さん（鳥取県教育委員会事務局人権教育課） 佐藤 淳子 さん（鳥取県人権教育アドバイザー）
第 6 企業における人権【講演】 演題：「放送こぼれ話」 講師：藤澤 武 さん（元 NHK アナウンサー）
第 7 特別分科会（社会的孤独・孤立）【講演・ワークショップ】 演題：「助けてと言えるまち一ひとりにしないという支援一」 講師：奥田 知志 さん（一般社団法人 生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表理事・NPO 法人抱樸理事長）